

平成 28 年度 第 3 回 学校協議会

1 校長挨拶

2 H28 学校評価について

H29 学校経営計画について 司会 三坂委員

Q 現在「学校課題検討会議」はあるのか（三坂委員）

A 来年度「将来検討委員会」でもいい、今年度行った育成支援研修を継続させることができるようなものを検討中。

3 第 2 回授業アンケートについて

H27,H28 の計 4 回行ったアンケート結果の推移から授業が落ち着いて行われていることが推測される。

Q H27 は 1 回目より 2 回目が上がっている。H28 は下がっている。これは誤差の内ですか。1 回目、2 回目と比べるより H27 と H28 で比べると H27 より H28 のほうが上がっているというふうに読めばいいのでは。

4 学校教育自己診断

生徒から 80 件の回答、昨年より「将来の進路や生き方について考える機会がある」、「学校行事(遠足、球技大会、文化祭)は、みんなが楽しく行えるよう工夫している」、「担任以外にも相談できる先生がいる」などのポイントが昨年より UP
保護者からは本校を選んだ理由として 1 番は高校卒業の資格を得るため 9 割。卒業後の進路は 9 割が就職希望となり資格取得も期待されている。

・「相談できる先生がいる」というのは生徒にとって素晴らしいことだ。

Q 授業アンケートもそうだが生徒のアンケートの答え方どうなんでしょうか。

ジグザグ回答、左右回答ははねたほうが良いのでは。

A すべての回答が両極であったものは 1 つのみ、3 年生に関しては無しでした。その他は 1 つ 2 つはちゃんと考えて回答している。無記名方式なので誰なのかはわからないが。

・両極回答をする生徒には何らかのフォローが必要では

5 今年度の取り組みについて

教務 より報告

生指 より報告

Q 給食喫食率はどんなものなのか。

A 4月のうちは高いが、夏休みを過ぎるとだんだん減少していく。現在は40名ほどの生徒が給食をとっている。2年前と比べると大幅増である。

生徒会 4月にクラブ活動推進週間を設けてクラブ加入率を上げる努力を行う。

本年度は延べ人数であるが、クラブ加入率62%（運動系52名、文化系33名）スポーツテストの抽出校となったので、スポーツ大会の代わりに今年度はスポーツテスト(8種目)を行った。学校行事参加率もUPし府工祭も盛り上がった。

・アンケートの中で勉強に関することが低いのはわかるが、学校行事まで低いのは残念であった。

(旭中) 子どもの意見をしっかり聞いて学校行事を行いたいと思った。

旭中学は、堺市の教育委員会がHPを管理していて、ブログを毎日更新を行っている。毎日更新していると見る人が増える。旭中も荒れてた時期があったので、最近はブログを見た地域の方から「旭中学、明るくなったね」と言われる。他中学の生徒が、堺工定のHPをみて、「包丁職人になりたい」と言い出した。不登校の子は家でパソコンを触ってる。昨年見せて頂いた動画も貸してほしいと言っている。これだけの取り組みを行っているのに、情報発信はぜひとも行って欲しい。もったいない。(川井委員)

・明日14:00~今年度最後の「堺学A」を行う。包丁が仕上がるころをぜひ見てもらいたい。(味岡委員)

6 ゆめ・チャレについて

文科省・経産省共同による「第6回キャリア教育推進連携表彰」優秀賞受賞
ユニホーム・仕事着を着て、お給料をもらい、定時制の生徒が小学生をサポート役でかわることは特筆すべきである。今年は昨年より4社増の29社の協力体験人数も241名(約40人増)で対応するが、応募者も500名に達する勢いである。抽選で外れた方には申し訳ない。日曜であるにもかかわらず、職員の9割、転勤された職員や卒業生もお手伝いに来てくれる。

・本校生とも小学生相手だと年が離れているからシャキッと対応している。

Q 教育庁からの評価はされているのか

A 評価はしていただいている。「ゆめ・チャレ」の件も報道提供されることになりましたし、ギネス認定モザイクアートも堺市役所、大阪府教育センターに展示され、次は府庁にも展示していただける予定。

国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」より経済的な支援を得ている。毎年「ゆめ・チャレ」を助成すると言っている。府庁からお金の面で支援いただくと「二重取り」となるので駄目である。

ギネス線香の件も150万の予算がかかったが、マスコミを通じての情報発信を行っている。「マイプロジェクト」(東京)から東北支援プロジェクトについて文章を書いてほしいという依頼があった。本日連絡があり、関西大会出場が決定。2/12に大阪市内で生徒によるプレゼンを行う。

7 その他

支援教育委員会より報告

自転車保険の説明(森主査)

質疑応答

裕福な家の子は、定通制の高校に行くのが恥ずかしいと思ってる人も多い。中学校の先生も誤解している。昔のイメージで定時制は良くないと思っている。私は主人も定時制で働きながら勉強したし、息子も堺工定に行かせて良かったと思っている。もっと中学校に行って堺工定の説明をして欲しい。いい学校である。堺工定をなくさないで欲しい。

(小田委員)

・良い方に堺工定は言っていると思う。最近は全日制が定時制の良い所を吸い上げている。定時制の生徒は人数が少ない分先生方によく見られている。自己主張できない子ができるようになりよく頑張っている。「たたら」も今は砂鉄が取れない状況にあり、鉄鉱石を砕いて行わなければならない。これは堺市でなく大阪府に言わなければならないことだが、全の機械科の先生は嫌がっているが校長先生にはお願いされている。(味岡委員)

・府立高校の定時制を第1希望にする生徒がいることは驚きである(三坂委員)。

・中学校の調べでは第1志望20名、第2志望で全日制をおちた子が希望している。何とか40名を超える1年生を期待している。

・高齢者のかたは昔のイメージがぬぐえない。今の若い先生もそうである。昨年中学の教員相手にパワーポイントで学校の説明をしたところ、みんなが驚かされていた。

もっとHP等をおして情報発信していく。教育にはゴールがない。いろんなアプローチを勉強して発展させていきたい。(山田校長)